

ハトムギ栽培情報 第2号

ハトムギは初期生育が緩慢であり、培土や追肥が遅れると生育量不足と雑草の発生により収量が低下します。

早めに中耕や培土作業を行い、収量を確保しましょう。

● 中耕（平床播種の場合）

・播種後15～20日を目安に中耕を行い、雑草を抑えましょう。

● 培土

・1回目：播種後30日頃（草50～60cm）、第1葉に土がかかる程度に実施

・2回目：播種後50日頃（草丈80～90cm）に実施

● 追肥（分施肥体系の場合）

・1回目培土時に「LPコート100」（40kg/10a）を株元に追肥しましょう。

● 雑草防除

薬剤名	適用雑草名	使用時期	使用量、使用回数	注意点
バサグラン液剤	一年生雑草 (イネ科除く)	・生育期 (雑草3～6葉期) ・収穫45日前まで	薬量 150ml/10a 水 100L/10a 2回以内	ヒエには効果無し。
プリグロックスL	一年生雑草	・畦間処理:雑草生育期(出穂前まで) ・収穫60日前まで	薬量 600～1000ml/10a 水 100～50L/10a 2回以内	ハトムギにかからないように、飛散防止カバーを使用する。

● 病虫害防除

	1回目	2回目
防除時期	6月末～7月初旬	7月下旬
対象病虫害	①アワノメイガ ②葉枯病	アワノメイガ
使用基準 および 希釈する 水量	①サブリーナフロアブル 薬剤 150ml/10a 水 150L/10a ②ロブラール水和剤 薬剤 150g/10a 水 150L/10a	トアロー水和剤 CT 薬剤 150g/10a 水 150L/10a 又は パダン粒剤 4 4kg/10a

※連作ほ場では、
葉枯病（ロブラール）の
追加防除も検討しまし
よう。

<イナゴ類の発生が多い地域での防除対策>

ハトムギでイナゴ類に効果がある農薬はありません。

イナゴ類は6～7月に孵化し、畦畔の雑草をエサにします。

集落ぐるみで草刈りを徹底し、エサ場をなくしましょう。